



## 札幌学院大学学園広報

編集・発行 札幌学院大学 広報入試課  
〒069-8555 北海道江別市文京台11番地  
電話 (011) 386-8111  
<http://www.sgu.ac.jp>



## 学園創立70周年を迎えるにあたって

学校法人札幌学院大学

理事長 井上 俊彌



本学園は、敗戦の混乱未だ収まらぬなか、1946（昭和21）年に「札幌文科専門学院」として、民主主義の原理に基づく教育を行い、青少年の文化的使命感の高揚を通して、わが国再建の新指導者たるべき人材の育成を目的として創立されました。以後、「札幌文科専門学院」は1950（昭和25）年に「札幌短期大学」へ、1968（昭和43）年には4年制の「札幌商科大学」へと昇格し続け、1984（昭和59）年に「札幌学院大学」に校名を改称し、現在に至っております。

現在、人文学部【人間科学科、英語英米文学科、臨床心理学科、こども発達学科】、法学部【法律学科】、経済学部【経済学科】、経営学部【会計ファイナンス学科、経営学科】、社会情報学部【社会情報学科】の5学部9学科並びに大学院3研究科【法学研究科、臨床心理学研究科、地域

社会マネジメント研究科】を持つ文系総合大学へと発展致しました。

本学園は、2016（平成28）年に創立70周年、2018（平成30）年には大学開学50周年を迎えます。この記念すべき時を迎えるにあたり、本学園では、次のような記念事業を予定しております。

つきましては、ご支援いただいで来た皆様と70周年を祝い、さらに100周年に向けて本学園が飛躍するための再スタートの機会として、この記念事業を推進したいと考えております。今後、順次ご案内致しますが、皆様におかれましては、この趣旨をご理解いただき、記念事業に対し暖かいご支援・ご協力を宜しくお願い申し上げます。

## 〈学園創立70周年記念に伴う主な事業一覧（予定）〉

- ① 学園創立70周年並びに大学開学50周年事業に対する寄付金の募集
- ② 学園創立70周年並びに大学開学50周年記念式典及び祝賀会の開催（2017年6月開催）
- ③ 創立70周年記念国際シンポジウム
- ④ 創立70周年記念学術講演会
- ⑤ 創立70周年記念広報活動
- ⑥ 創立70周年の記録化（デジタルアーカイブ化）
- ⑦ 創立70周年記念に伴う施設設備等の改修・整備



## 司法試験 合格

杉山 清さん

(2004年3月法律学科卒業)



2004年3月に法律学科を卒業された杉山清さん。司法試験に合格し、現在、司法修習生として研修を受けています。在学中の思い出や狭き門と言われている司法試験に合格された経緯、今後の目標などをお聞きしました。

きっかけは妻の妊娠中、ある病院の医療体制に強く疑問を持ったことです。様々な社会問題を正當なやり方で正していきたいと思います、弁護士を目指しました。在学中、受刑者を収容している刑事施設を見学する機会があり、報道では見ることのできない受刑者の生活を垣間見ることができてとても興味深かったです。現在は、1年間の研修に取り組んでいます。私は検察、民事裁判、弁護士、刑事裁判の順で各2カ月ずつ、現場の検察官、裁判官、弁護士の指導のもと、実際の案件の解決に取り組んでいます。司法修習終了後は弁護士になるつもりです。社会の中で声にならない声をあげている人々の思いをすくい取り、より公平な社会の実現に貢献できればと考えています。卒業後、勉強したくても時間に追われできなく、在学中にもっと勉強しておけばよかったと後悔しました。後輩には目的意識を持ち、勉強に専念できる環境がかけがえのないものであることを常に意識し、大学生活を充実させて欲しいです。

## 教員採用試験、既卒者も含めて30名が登録

2016年度北海道・札幌市に現役4年生から小学校5名、特別支援学校2名の計7名、既卒者23名の合計30名が登録されました。合格者の努力を労い、経験を教職課程全体のものにするために、50年記念館（G館）で「教職をめざす学生交流会」が開催され、後輩たちも教員への決意を新たにしました。



## 「臨床心理士」資格試験7名が合格

2015年度に実施された臨床心理士資格試験で、本学大学院臨床心理学研究科の修了生7名が見事合格を果たしました。今回の合格により、2001年度（1期）から2014年度（14期）までの修了生135名中、115名（85%）が臨床心理士として名を連ねることになります。今後とも、臨床心理士を養成する指定大学院として、より高い評価を得られるよう、教育の充実に努めて参ります。

# News & Events

8月 ★  
★ August ★  
9月 ★  
★ September ★  
10月 ★  
★ October ★  
11月 ★  
★ November ★  
12月 ★  
★ December ★

## 人文学部公開講座

「人間論特殊講義」は「文化の変容と時代の変化」を総合テーマに、8月17日から21日まで開講しました。例年と同様、道民カレッジ・えべつ市民カレッジとの連携講座でもあり、市民160名、本学学生41名が出席しました。文化の考え方、博物館の歴史や展示、文化財、言葉の文化論など5名の講師による個性的な講義が好評でした。



## 保護者懇談会

保護者懇談会は、1974年から開催し41年目を迎えました。今年度は、8月に旭川と北見、9月に函館と青森、10月に本学で280名を超える保護者の皆さまをお迎えし開催いたしました。全体説明会では、教育活動、学生支援について、個別面談では、学部教員よりお子様の修学状況（単位修得・成績など）のお話をさせていただきました。



## 経済学部公開講座

今年度の経済学特別講義は、「北海道：現在と将来」というテーマを掲げ、人口減少、経済の低迷に悩む北海道の現在をみつめ、将来を考えるというねらいを持って講義を構成しました。北海道の産業、北海道の市町村の姿、そしてまちづくりがどんなかたちで行われようとしているかを13名の外部講師の話を通じて語っていただきました。



## 法学部公開講座

法政総合講座A「現代行政活動の最前線～地方創生、雇用と福祉」では、第一線で活躍中の現職公務員の方々を中心に外部から講師をお招きし、現代という難解な時代における行政活動の意義や役割を多角的に明らかにすべく、公開講座を開講しました。



10/31

## 保護者向け就職活動勉強会

キャリア支援課主催による保護者向け就職活動勉強会を開催しました。当日は企業の採用動向と学生の就職環境について本学キャリアアドバイザーである廣崎匡先生からのお話のあと、「就職活動を振り返って思うこと～親とのかかわりを通じて～」と題し、企業に内定した学生3名によるパネルディスカッションが行われました。最後に河西邦人就職部長から、本学の就職状況と就職支援について説明がありました。



11/7

## 総合研究所シンポジウム

第8回シンポジウムが「マーケティングと行動経済学のコラボレーション」と題して開催され、活発な議論が展開されました。いずれも現実に立脚して経済活動を見るマーケティングと行動経済学が、社会科学全般のなかでの存在感を増していくことを確認することが出来ました。



## 朝食を食べようキャンペーン 100円朝食大盛況!

江別市内4大学・1短期大学共同企画の「秋の食生活改善運動～朝食を食べようキャンペーン」が10月28日から3日間実施され、3日間で809食提供されました。本学のキャンペーンの様子は、10月28日のHBC北海道放送のテレビ番組「今日ドキッ!」で放送されました。



11/14

## ふるさと江別塾

ふるさと江別塾は、江別市と本学を含む江別市内4大学が共同で運営するリレー講座です。本学では「株式投資とバクチはどう違うの?」（玉山和夫経営学部教授）、「インターネットはいかにして広まったのか?」（森田彦社会情報学部教授）の2講座が開かれ、70名以上の市民が参加されました。



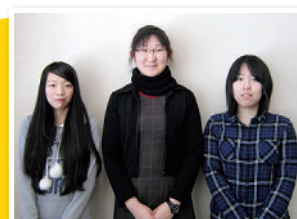
## 心理臨床センター公開講座

今年度、市民講座が2回開催されました。11月7日は、「MIとCRAFTを学んでみたい!」と題した研修会で、医療、教育、福祉など幅広い分野からご参加頂きました。12月5日は、安岡響元本学教授の「家庭・学校・職場で直面する現代人の心の健康と諸問題について」という講演に多数の市民にご参集頂きました。



## 第7回「図書館大賞」

みんなに読んでほしい本について、心に「ぐうっ」とくる紹介文を書いた学生に授与される「図書館大賞」。今回も心に響く作品が寄せられました。



写真向かって左側から田中さん、厚木さん、長谷部さん

●受賞者の紹介文は、図書館ホームページに掲載しています。

### 受賞者と推薦図書

- 1席 田中 愛莉さん（臨床心理学科1年）  
『和菓子のアン』坂木 司(著) (光文社2010年)
- 2席 厚木 歩さん（人間科学科2年）  
『そのままのきみがすき』マックス・ルケード作  
セルジオ・マルチネス絵、ホーバード・豊子訳  
(いのちのことは社2010年)
- 3席 長谷部 愛さん（人間科学科2年）  
『狐笛のかなた』上橋 菜穂子(著) (新潮社2006年)

11/7

## 後援会秋季役員会

後援会の秋季役員会が開催され、来年度の予算方針などが審議されました。懇談会で寄せられた保護者委員からのご意見と、陸上競技部の宮崎卓磨さん、ゴルフ部の浦山真実さんから、全国大会出場などの活動報告を受け、改めて後援会の充実の必要性を確認する機会となりました。



# 学科 Topics

人間科学科

## 体と頭を動かす総合学習「考古学」

考古学分野の学生達が、日々の活動内容と学習方法を紹介するポスターを制作しました。鶴丸学長はじめ関連教員・学生の似顔絵もそっくりです。本学での考古学の学びのキーワードは「体と頭を動かす総合学習」です。掘る・観る・調べる・作るといった一連の活動を通して、体と頭を動かしながら勉強していくという意味があります。8月には多くの学生が置戸町での発掘調査に参加しました。



法律学科

## 公務員採用試験で道内大学の上位に

2年連続で公務員就職者数が30%を超えました。4年生は、北海道職員（一般行政・教育行政・警察行政）、道内市町村職員（事務・消防）、北海道警察など公務員試験に合格しました。学科では、1年生から試験対策を始めるだけでなく、人間的にも成長させる地域の体験活動にも取り組んでいます。このような取り組みの成果が着実に始めています。（写真は、採用試験に向けた面接指導の様子です）



経済学科

## 2年生を対象に、函館フィールドワークを実施

経済学科では、「地域で活躍できる人材」の育成を目指し、フィールドワークを実施しました。今回は北斗市の協力を得て、11月14日・15日に開業前の新函館北斗駅の見学と北斗市の現状の聞き取りを行いました。1泊2日の調査活動でしたが、学生たちは普段とは違った「学び」に意欲的に取り組んでいました。



英語英米文学科

## カリフォルニア大学デーヴィス校での留学体験

今年度「半期海外留学制度」を利用してアメリカ・オーストラリア・イギリスへ6名の学生が旅立ちました。「英語英米文学科外国留学奨学金」の受給を受け、昨年9月にアメリカのカリフォルニア大学へ留学した杉山朝美さんは、大学での授業はもちろん、同じ授業で知り合ったサウジアラビア・韓国・中国からの留学生や、ホストファミリーとの会話を通じて、英語力に磨きをかけています。（写真中央が杉山さん）



経営学科

## 実践科目による体験型学習

経営学科にはフィールド実践、マーケティング実践、プロジェクト実践と多様な体験型学習が用意されています。今年度は、石狩市厚田区の「第42回厚田ふるさとあきあじ祭り」に学生が企画したこども縁日コーナーを出店し大好評を得ました。地域貢献プロジェクトの取り組みを地域密着型フリーペーパーで情報発信、収穫体験に学ぶ地域おこし体験学習など、地元の新聞にも注目された学生たちの活躍が見られました。



臨床心理学

## 「ひきこもり」の支援のために

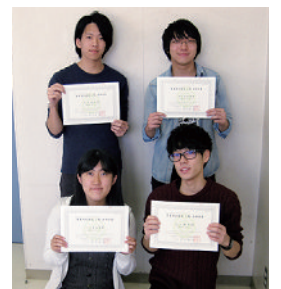
「ひきこもり」経験者である杉本賢治さんのインタビューを中心とした「ひきこもる心のケア」（世界思想社）が出版されました。この本の中で、ひきこもり支援分野の専門家として、臨床心理学科の山本彩准教授や村澤和多里准教授、人間科学科二通論教授を始めとした10名の方と杉本さんのインタビューが所収されています。



会計ファイナンス学科

## 農業簿記検定2級に5名合格 TPP視野に

今年度実施された農業簿記検定（主催一般財団法人日本ビジネス技能検定協会）において、坂口ゼミナールに所属する会計ファイナンス学科2年生5名が2級に合格しました。本検定試験は、法人化や異業種からの参入、加えて今話題となっているTPPも視野に入れ、新しい農業経営における経理処理を体系的に身に付けることを主眼に、昨年度から設けられました。



こども発達学

## 今年で10周年 108名の教員が誕生

今年度は、7名の現役生と19名の卒業生が、小学校と特別支援学校の教員採用試験に合格しました。1期生（2010年卒業）から累積で108名の教員が誕生することになります。今年は10周年を迎えます。子どもの教育や子育て支援の多くの現場で、本学科の卒業生たちの活躍を見かけられるようになりました。



社会情報学

## 学生演習・実習教育補助員(SA)制度

社会情報学科では、Student Assistant (SA)を採用し、コンピュータを用いた演習科目における受講生の学習支援を担当しています。これは、受講生の質問や様々なトラブルに先輩学生として対処するもので、学科が目指すきめ細やかな教育を実現するための重要な役割を担っています。データ解析基礎ⅡのSAを担当している4年生の永井 優行さんは「SAの経験は自分自身の成長にも繋がる」と話しています。



外務省

## アジア地域との交流 JENESYS2015

### 日本大学生訪問団(韓国外交部招へい)プログラム

#### JENESYS2015とは…

日本とアジア大洋州地域との間で、将来、各  
方で活躍が期待される優秀な人材を招へい、派遣  
し、日本の政治、社会、歴史及び外交政策に関  
する理解促進を図るプロジェクトです。



人間科学科3年 堀出悠介さん

JENESYS2015韓国外交部招へい日本大学生訪問団として9月15日から24  
日の10日間に渡り、「文化コンテンツ」をテーマに韓国を訪問しました。

「日韓交流おまつり2015 in Seoul」への参加を通じ、韓国社会や文化を学  
ぶだけでなく、韓国で日本の文化を発信する機会もありました。

日本の「よさこい」と韓国の「아리랑」(アリラン)という民謡を合わせた「よ  
さこいアリラン」を踊った時、このような芸術を通じ、言語や国を超えて全て  
が一体となって楽しい時間を共有できることに感動しました。



日本には韓国を訪れたことがないのに  
メディアの情報だけで左右されてしまう人  
が多く非常に悔しく感じます。今回のよう  
に、私たちが見て感じたことを発信してい  
くことで、メディアとは違う面から見て考  
えてもらいたいと思っています。そのため  
には、経験を積んだ私たちが先駆者にな  
らなければいけないと、改めて感じました。

内閣府

## 青年国際交流事業

### 次世代グローバルリーダー事業 「シップ・フォー・ワールド・ユース・リーダーズ」

#### 次世代グローバルリーダー事業

「シップ・フォー・ワールド・ユース・リーダーズ」とは…  
世界各国の参加者とディスカッションや文化交流を通し  
て、異文化対応力やコミュニケーション力を高め、リー  
ダーシップを発揮できる青年の育成を目的とする事業  
です。日本を含め11カ国、240人の参加者と1か月間、  
船上での研修およびインド・スリランカに寄航し実地研  
修を行う予定です。



2014年3月英語英米文学科卒業  
黒川恵里子さん

友人の紹介がきっかけで応募し、内閣府で行われた英語面接などの選考を  
経て、プロジェクトのメンバーに選出されました。このプロジェクトを通して、  
世界各国の参加者と「教育」について  
ディスカッションし、教育の“今”を知り、  
海外参加者と共に教育の多様な可能性  
を、様々な角度から考え、学びたいです。  
また、小さい頃から好きだった「折  
り紙」を通して、日本文化の素晴らし  
さを発信したいです。

次世代グローバルリーダー事業で得  
た全ての経験を糧に、将来は、教員と  
して、子どもたちと世界の架け橋にな  
りたいと思っています。



海外の参加者へのお土産として、  
黒川さんが折り紙で作ったピアス。

## 高大連携事業

### 北海道清里高校の文化祭に参加

7月18日、清里高校で開催された  
文化祭に本学の学生6名が参加し、  
カキ氷、オリジナルうちわの出店、  
全校ダンスへの参加、ステージ運営  
のサポートなどを行いました。清里  
高校とは、2012年から高校生と大  
学生の交流が始まり、夏休みを利用  
して大学生活の紹介や進学相談  
などを実施してきました。今年度は  
「教養ゼミナールA」として、文化祭  
の企画準備、実習などを行いました。  
履修した学生は、チームとして一つ  
のことをやり遂げる喜びや感謝され  
る喜びを感じ、高校生や高校教諭  
との関わりを通して、普段の授業  
では得ることができない「学び」  
を得ることができたようです。



### D.W.ヒンクルマン教授が札幌東商業高校で出張講義



6月11日に、D.W.ヒンクルマン(人文学部教  
授)が札幌東商業高校で「英語での異文化コ  
ミュニケーション」の講義を行いました。講義  
ではグループワークも行われ、生徒の皆さん  
は活発なグループワークの後、全体の前で英  
語で発表しました。

この講義は、本学との高大連携事業の一環で、  
例年札幌東商業高校の国際経済科2年生に講義を  
行い、希望する生徒の皆さんは翌年、本学の「英  
語IB」(ネイティブスピーカーの講義)を受講して  
います。

今回の講義が、今後の学習や進路選択などの参  
考になっていただければ幸いです。



## 教員著書紹介

### 北海道における自閉症の 子ども達への対応の歴史

～主に教育支援の面から～

牧野誠一(人文学部教授) 編著

発行元 かりん舎  
発行日 2015年7月29日  
価格 2,700円(税別)



北海道における自閉症の子  
ども達への支援は、首都圏のよう  
な教育相談の場から始まったのでは  
なく、北海道大学の医療と教育が  
連携した障害児教育の場から始  
まった。北海道の地域特性を生か  
した自閉症の子どもの支援が今  
日の北海道型自閉症教育として  
受け継がれ発展している。

### 特別支援教育時代の 光輝く映画たち

二通論(人文学部教授) 著

発行元 全国障害者問題研究会出版部  
発行日 2015年8月9日  
価格 1,836円(税別)



アナ雪のエルサから始めて、「サ  
ウンド・オブ・ミュージック」のマ  
リア、任侠映画の高倉健、「男はつ  
らいよ」の寅さん、寺山修司、  
ジョン・レノンと実母のジュリア  
、山田洋次に大島渚…。みんな特  
別支援教育の大道を歩いています。  
こんな幻影から本書が生まれたの  
です。本文で77作品、チェック表  
で263作品取り上げています。  
映画で特別支援教育精神を学ぶ  
ことができます。

### 認知類型論

中村涉・佐々木冠(経営学部教授)・  
野瀬昌彦 著

発行元 くろしお出版  
発行日 2015年10月1日  
価格 4,200円(税別)



機能主義的な言語学の様々な側  
面を知ることができる本です。  
2、3、5章は、認知・機能主義的  
アプローチによる文法研究を知る  
上で有益な内容になっています。  
4章は北海道方言の自発述語(「書  
かざる」)などを機能主義的な観  
点から分析したものです。6章と  
7章は近年の類型論的研究の紹  
介です。機能主義的文法研究の  
動向を日本語で知りたい方に  
お勧めの本です。

## キャンパスライフ

### カーリング部

全日本大学カーリング選手権大会男女2連覇!!



全日本大学カーリング選手権大会（12月4日～6日、どうぎんカーリングスタジアム）に連覇をかけて出場しました。女子は、5チームによる予選リーグが行われ、本学は全勝で予選を通過。男子も、7チームがAブロック4チーム、Bブロック3チームで予選リーグを行ない、本学は、Aブロックを全勝で予選通過しました。

準決勝は、女子は帯広畜産大学を、男子は東京農業大学を破り、決勝では、女子は北海道大学と、男子は帯広畜産大学と対戦し、ともに圧倒した力を示し男女揃って優勝を勝ち得ました。

なお、本大会の結果により、来年度行われるユニバシアード日本代表決定戦の出場権を得ましたので、一層の応援をよろしくお願いたします。

## 世界で活躍する卒業生

### デフフットサル日本代表 東海林 直広 選手

2015年3月に人間科学科を卒業し、現在、デフフットサル日本代表メンバーで「日本の絶対的エース」と呼ばれ、得点王として活躍する、東海林直広さんにお話を聞きました。

●デフフットサルとは…

「デフ」とは聴覚障害のことを指し、「デフフットサル」というのは、聴覚障害を持った選手によっておこなわれるフットサルです。

●きっかけを教えてください

高校時代、デフフットサルをしている方を紹介されたことで、多くの選手と知り合い本格的にデフフットサルを始めるようになりました。

●試合で結果を出すための工夫はありますか  
得点王と呼ばれても、デフフットサルにおいてのことで、自分より上手い選手は沢山います。結果にこだわることなく、常に



謙虚に上を目指すという心構えでフットサルと向き合っています。

●在学中の思い出を教えてください

在学中の思い出は、学内フットサル大会です。結果は惨敗でしたが、真剣に勝負し、楽しくプレイしているチームでした。

●今後の目標を教えてください

2014年11月にタイで開催された世界選手権で、日本は7位でした。過去最高成績ではありましたが、やはり優勝したいです。4年後の世界大会では、さらに上の成績を残すことが今後の目標です。そのため、この4年間で「デフフットサル界の怪物」になれるように頑張ります。

### ゴルフ部

経済学科4年 杉下智子さん  
会計ファイナンス学科1年 浦山真美さん



私たちは、8月に茨城県大利根カントリー倶楽部で行われた「日本学生・日本女子学生ゴルフ選手権」及び、

10月に千葉カントリーCC梅郷コースで行われた「朝日杯争奪日本学生・日本女子ゴルフ選手権」の2つの全国大会にそれぞれ出場しました。北海道予選を杉下は優勝し、浦山は2位で出場した全国大会でしたが、大会は思った以上にレベルが高く、2人も予選で敗退してしまいました。今後は、全国で通用するように練習に励み、肌で感じた技術の高さを目標に行きます。この度の全国大会出場の際に、応援していただいた皆さまに感謝し、これからも応援していただけるよう頑張りますので、よろしくお願いたします。

### ソフトテニス部

経済学科3年 田村真也さん



ソフトテニス部は、8月に山形県で行われた第69回全日本大学対抗ソフトテニス選手権大会に出場しました。

団体戦の1回戦では4年生を中心とした活躍で大東文化大学に3対0で勝利しました。しかし、続く2回戦では強豪の日本体育大学に0対3で破れました。敗因は1回戦で勝った時のような出場選手と応援が一体になりきれなかったことにあり、非常に悔しい負けとなりました。今回のインカレは、技術よりも精神面や戦術で課題があり、最後の一本が決めきれない甘さが出てしまったので、来年までに課題を修正して、今年よりも良い結果ができるように日々向上していきたいと思っております。この場を借りてご声援いただきました皆さまに感謝申し上げます。

### 陸上競技部

人間科学科2年 進藤龍太さん



陸上競技部は、8月に行われた北海道予選で12連覇を達成し、全日本大学駅伝対校選手権大会に出場しました。北海道予選

では、前半リードを許す例年にない苦しい展開から最後は逆転して優勝を決め、みんなでカバーし合うチームスポーツの重要さを、改めて実感しました。全日本大会では、「打倒関西」をチームの目標に掲げ丸となって望みましたが、最下位という不本意な結果となってしまいました。しかし、12年連続優勝という記録を誇りに思いつつ、この大会で得た「自分たちの甘さ」という悔しい思いを糧にして、来年こそチームでいい走りができるよう戦って行きたいと思っておりますので、これからもご声援よろしくお願いたします。

### 札幌市立本郷小学校へボランティア

チェ ミンジ  
韓国からの留学生 崔 敏智さん



11月24日から本郷小学校の児童たちと一緒に過ごした2日間は童心に返った夢のような時間でした。韓国につ

いて関心を持って貰う授業の一環として韓国の文化を学習するということは自分自身が韓国を見直すきっかけにもなり感謝をすべきことでした。改めて韓国人として誇りを持つようになり、今回の交流会に愛情を持って臨める良い機会になったと思っております。楽しみであった交流会を準備しながら、児童たちは韓国のどのようなことが知りたいか、私はどのようなことを伝えたら良いのか、自分が小学校の時はどうだったか、今の韓国の児童たちはどのようなかなど、児童たちの立場になって考えることが出来ました。

本郷小学校の児童たちは子どもの頃から外国人と接することにより、文化の違いを理解し、ありのままを受け入れる姿勢を持っていました。

### 韓国東亜大学との国際交流プログラム

英語英米文学科2年 中川琴絵さん



異文化に触れて楽しみたい。他国の言語文化を学びたい。韓国語でコミュニケーションを取りたい。そう思い、私は韓国の東亜大学校との国際交流プログラムに参加しました。

韓国に行くのは初めてで文化の違いに不安もありましたが、東亜大学校の学生の優しさと心温まる歓迎、勉強熱心な姿勢にとっても感激しました。プログラムでは、お互いの国について紹介し合い、伝統料理や民族衣装も体験しました。食や礼儀など日本と韓国の様々な文化の違いと慶州では日本に繋がる韓国の歴史など多くのことを学ぶことができ、とても充実した5日間を過ごすことができました。

国際交流プログラムに参加して、新たな出会いと異文化交流の楽しさ、他国を知る魅力を改めて感じる事ができました。これからも学生国際交流委員会の活動に積極的に参加し、自分の視野を広げていきたいと思っております。



### 第45回 大学祭『青嵐祭』

大学祭 実行委員会 委員長 法律学科3年 日井横吾さん

今年度から、大学祭の開催を10月から6月に変更し、名称も『青嵐祭（せいらんさい）』となりました。26日の前夜祭と27日の本祭には、多くのサークルの仲間が露店を出展しました。お笑いライブには、「流れ星」、「エネルギー」、「すずらん」に出演して頂き、会場が大いに盛り上がりました。

大学祭に協賛して頂いた多くの企業様、文京台地域住民の皆さま、ご支援いただいた文京会、大学関係者の皆さまに心より感謝いたします。来年度も多くの皆さまに楽しんで頂ける盛り沢山の企画を考えますので、是非お越しください。





# コラボレーションセンター

## 1年を振り返って

### 2月 オープニングセレモニー



### 6月 学生スタッフ8名勤務開始 (任命式)



### 8月 開設記念特別講演会

「15年後の社会に備える高校生たちのための『進路づくり』と高大接続」というテーマでNPO法人 NEWVERY フェローの倉部史記氏にご講演いただきました。



### 9月 職員夏季研修 (謎解きゲーム)

学生スタッフ考案の謎解きゲームでアイスブレイク!?



### 10月 ハロウィンパーティー



月～金  
12:30  
13:00 英語で話そう

## English Lounge



### English Lounge とは

平日のお昼休み (12:30~13:00) に、コラボレーションセンターエントランスにて、英語に親しむ目的で行われている取り組みです。ネイティブの教員を中心に、学年・学科の垣根を越え、ゲームやプレゼンテーション、ディスカッションを通し、英語で交流しています。



## ALL SGU ENGLISH PRESENTATION CONTEST

このコンテストは、各学科の専門分野について英語でのスピーチを1人または数人のグループで行います。各学科ごとに代表者を選び (準決勝)、その後選ばれた各学科の代表者が集まって (決勝)、ナンバーワンが決まります。選ばれた学生たちは、各自が作成した資料を使いながら英語でスピーチをし、ジェスチャーも交えながら審査員である教員や集まった学生たちにアピールしました。

## 12/11 12/14 屋台カフェ運営プロジェクト Produced by 屋台部



### 屋台部とは

コラボレーションセンター主催で、英語英米文学科の3年生が中心になり企画、運営をしたプロジェクトです。

校内でおいしいコーヒーを手軽に飲みたいという声に応えるべく、自分たちでコーヒーの試飲を重ね、お客様に喜ばれるようなお店作りを目指してきました。

僕自身、約2週間という限られた準備期間の中でメンバー全員で協力し、活動した結果として「完売」という目標を達成できた事に感激しております。このような活動の場を設けて頂いたことに感謝するとともに、我々のプロジェクトが今後の新しい希望になることを期待したいです。



屋台カフェ店長  
英語英米文学科3年  
望月美秀さん

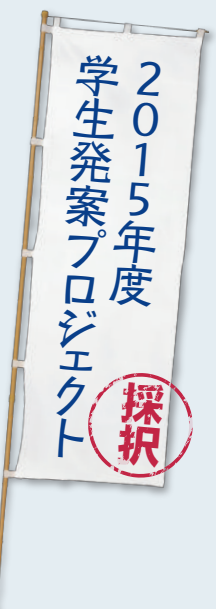
**Project 3**  
音声認識を利用した  
情報保障プロジェクト  
聴覚障がいを持つ学生に対して、パソコンやスマートフォンの音声認識機能による情報保障を学内で行えるよう、設備と運用の確立を目指します。



**Project 2**  
携帯用アプリ開発  
学生が必要な情報を閲覧できる機能や位置情報を利用した機能を備えたアプリの開発を目指します。



**Project 1**  
国内協定校「松山大学」との  
学生交流促進プロジェクト  
協定校の松山大学 (愛媛県松山市) と、互いの大学や地域の魅力について考えます。11月には松山全学研関係のプロジェクトの成果報告を兼ね、学内では「愛媛・松山ランジ」と銘打って、松山の銘菓の紹介や松山クイズなどが行われました。



# 1周年記念特集



## 学生スタッフに インタビュー してみました！

英語英米文学科4年  
熊谷紗季さん



英語英米文学科1年  
藤原真汰さん



コラボレーションセンター  
学生スタッフ



**Q** 学生スタッフに  
応募した動機はなんですか？

藤原さん：情報ポータル（掲示板）をみて、学内の活動に貢献できて、楽しそうだなと思い、応募しました。

熊谷さん：学生国際交流委員会もやっていて、他にも学内での活動に参加したくて応募しました。担当の先生と話をして、面白そうと思い、ゼロからのスタートだったので参加したいと思いました。想像していたよりも楽しかったです。



**Q** 学生スタッフって何をしているのですか？

熊谷さん：ハロウィンパーティーなどのイベントを企画して、学年・学科を越えた学生同士の交流を促したり、施設美化やセンターの日常を伝えるために、フェイスブックでの情報発信もしています。

藤原さん：より使いやすい施設にするため、利用者から意見を集め施設運営に活かしています。



**Q** この活動が一番楽しかったですか？

藤原さん：ミーティングですね。  
熊谷さん：みんなで話すのは楽しいです。勤務時間外でも心から立ち寄って、業務に関して話したり、そういうのも楽しいです。学生スタッフみんな個性が強いので



**Q** いままで印象に残ってる、  
力をいれた活動は？

で（笑）、いろんなアイデアが出ます。たまにちよっと意見が合わないときもお互いの妥協点、納得できるころまで話し合います。



熊谷さん、藤原さん：ハロウィンパーティーです！  
熊谷さん：ハロウィンパーティーは（藤原さんと）2人で中心となり、企画・運営しました。初めての経験で苦労しましたが、学ぶことが多く勉強になりました。自分たちで予算を立て、企画書を作り、運営委員会ではイベントの主旨や熱意を教職員に伝えました。

藤原さん：地域の方にも参加頂きたかったので、宣伝に力を入れました。スタッフで1,000枚近くのポスティングは大変でしたが、チラシを持参して来てくれた方がいたときは、嬉しくなりました。

熊谷さん：参加者から、「楽しかった」と言ってもらえたときは、本当に嬉しかったですね。とてもよい思い出です。



**Q** 今後やってみたいことは  
ありますか？

熊谷さん：学生・教職員・地域の方、多くの方が参加できるフォトコンテストをやってみたいです。「学長賞」など賞を沢山ついたら面白いかなあ。



藤原さん：ハロウィンパーティーの他にも来年はいろいろイベントを企画したいです。



**Q** 半年やってみて  
どうですか？

熊谷さん：ただやりたいと



学生スタッフ考案

## 学長&ブラウニー LINEスタンプ

好評販売中

スタンプは全40種類!!

鶴丸学長と本学マスコットキャラクター「ブラウニーくん」がLINEスタンプになりました！今回販売するLINEスタンプは、Collaboration Centerの学生スタッフとイラストが得意な学生を中心にスタンプ製作を行いました。LINEストア「クリエイターズスタンプ」で販売しています。検索欄に、【札幌学院大学】と入力し検索してみてください!!

思っただけじゃなく、しっかり計画を立て準備をしなければ、周りを説得できないという社会の厳しさを学びました。大学の活動に前向きになり、大学がさらに好きになりました。

藤原さん：普通の学生生活ではできないような予算の申請や、企画書の書き方など社会に出ても役に立ちそうなことをすべてよかったです。

斎藤さん：コラボレーションセンターでは、遅くまで勉強している学生や、ゼミでの発表の準備をしている学生たち、イキイキとしている様子を毎日みることが出来ます。C館2階を中心に札幌学院大学がさらに楽しくなっています。



コラボレーションセンター職員  
斎藤さん



# 秋の鶴マルシェ開催

## 鶴丸学長の店 鶴マルシェとは…

「大学祭にもっと人を呼びたい」という鶴丸学長の思いから、発足したプロジェクト。近隣の人を呼びたい、それなら「食べ物だ」。食べ物なら、卒業生に協力してもらおうというところから、鶴丸学長の教養セミナーの学生を中心に、卒業生や学生の保護者が生産する農作物を6月の大学祭と10月に販売しました。



秋の鶴マルシェを手伝ってくれた、臨床心理学科の五十嵐さんと中国からの留学生栗さんにインタビューしました。

### Q.きっかけは何ですか？

**五十嵐さん**：人との交流が好きで、接客をしてみたかったのですが、アルバイトはしたことがなくちょっと不安だったときに、ちょうど鶴丸学長が、鶴マルシェの手伝いをする学生を探していると知り、参加することにしました。

**栗さん**：「鶴マルシェ」を通して、日本の礼儀作法を学びたいと思い参加しました。

### Q.「鶴マルシェ」の店員になってみてどうでしたか？

**栗さん**：かぼちゃを調理したのは初めてでしたが、電子レンジでとても簡単に美味しくなりました。試食を美味しいと言って食べてくれたので嬉しかったです。

**五十嵐さん**：加熱したあと、つぶしてポタージュにしたりとか、いろいろ調理方法を考えてたら楽しくて。こん

な風につくるんですよって作り方を説明しながら接客しました。蜂蜜は4種類あったのですが、味や風味が全然、違うので、自分なりの感想を加えて販売しました。

### 「鶴マルシェ」の今後について 店長の鶴丸学長から一言。

**学長**：今度は、果物を増やしていきたいね。たらこの詰め放題みたいな目玉商品をつくったりもいいね。食べ物だけでなく、地域の手作りのものがあればね、盛り上がるんじゃないかな。空いてる教室を使って、常設的なお店を学生で運営したら面白いんじゃないかなあと、授業の間をみんなで交代で運営して。学生みんな、いい案があったら出して頂戴。



店員  
五十嵐花林さん  
(臨床心理学科 1年)



店員  
栗 竹さん  
(中国からの留学生)



店長  
鶴丸俊明学長

## Information

### 入試情報 オープンキャンパス

本学の魅力をより感じてほしい、学科選択の参考となるよう、年5回オープンキャンパスを開催しております。



オープンキャンパス …開催予定…	
2016年 3月21日(月・振休)	9月25日(日)
6月19日(日)	11月13日(日)
7月24日(日)	2017年 3月19日(日)

無料送迎バスも運行します。

### 入試情報 ネット出願・ネット割

一般入試およびセンター試験利用入試でインターネット出願を実施しています。

出願時はPC画面のガイドに従って入力するので、記入漏れや書き損じの心配もなく、願書の取り寄せが不要なため、締め切り直前でも24時間出願できます。時間と手間の省力化で、受験生をバックアップします。

さらに、インターネット出願による受験料の割引制度「ネット割」も実施。郵送、持参に比べ、一般入試では3,000円、センター試験利用入試では2,000円が割引となります。また、3学科までは併願料も無料としております。



### 学位記授与式のご案内

2015(平成27)年度学位記授与式を次のとおり挙行いたします。

〈日時〉2016(平成28)年3月18日(金)  
〈式場〉札幌学院大学 G館SGUホール

#### ●11時 開式

- 大学院 地域社会マネジメント研究科
- 大学院 法学研究科
- 経営学部 経営学科
- 経営学部 会計ファイナンス学科
- 法学部 法律学科

#### ●12時 開式

- 経済学部 経済学科
- 社会情報学部 社会情報学科

#### ●13時 開式

- 大学院 臨床心理学研究科
- 人文学部 人間科学科
- 人文学部 英語英米文学科
- 人文学部 臨床心理学科
- 人文学部 こども発達学科

## SNSで情報配信中

facebook LINE@

↓ 札幌学院大学で検索!! ↓ ID検索はコチラ ↓

札幌学院大学 @satugakuuniv

受験生用公式 LINE@

## 教育振興寄付金のご協力に深く感謝

同窓生、保護者の皆さまをはじめ多数の方々から寄付金のご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。賜りましたご厚志は、教育環境のための施設・設備の充実並びに学費納入が困難となった学生に対する緊急支援などに有効適切に活用させていただきます。引き続き、皆さまの温かいご支援を心からお願い申し上げます。

ご芳名 (敬称略・順不同)	2015.4.1 ~ 2015.12.31
石山 武	齊藤 一文
井上 隆	札幌短期大学
井上 俊彌	七樹会
白井 博	
小野寺明子	佐藤 達哉
菅野 雅夫	佐藤 秀幸
五ノ井 學	篠原 武秀
小森 強	柴田 哲
杉井 西子	服部 正人
高倉 博人	平木 淳一
田中 信行	廣川 和希
田中 宏	伏見 和彦
田村 丞吉	松本美智子
辻 智子	三木田 光
寺田 隆	山田真理子
中井 哲朗	山本 辰勇
長澤 昌直	横山 末雄
中本 昌伸	吉田 有次
西川 政孝	渡部 勉
日本清酒株式会社	

## 2016年度 大学行事等予定

前期	後期
3月 30日(水)	9月 20日(火)
31日(木)	25日(日)
4月 1日(金)	29日(木)
2日(土)・4日(月)	10月 1日(土)・2日(日)
5日(火)・6日(水)	15日(土)・16日(日)
7日(木)	22日(土)
9日(土)	29日(土)
15日(水)	11月 13日(日)
19日(日)	26日(土)・27日(日)
25日(土)	12月 17日(土)
7月 24日(日)	1月 10日(火)
29日(金)~8月4日(木)	14日(土)・15日(日)
8月 19日(金)	25日(水)~31日(火)
22日(月)~27日(土)	28日(土)
27日(土)	2月 3日(金)・4日(土)
28日(日)	11日(土)・12日(日)
9月 3日(土)	24日(金)
4日(日)	27日(月)
5日(月)~10日(土)	3月 4日(土)
10日(土)	8日(水)
11日(日)	18日(土)
17日(土)	19日(日)

※なお、変更が生じた場合は、大学ホームページにてご案内させていただきます。